

10月の予定

教会委員会 10月11日(日)
子どもミサ 10月24日(日)
バザー 10月31日(日)



アシジの聖フランシスコ (カラヴァッジョ 1595)

2010年10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成22年10月3日

アシジの聖フランシスコ

主任司祭 小林 陽一



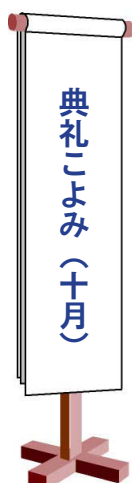
イタリアの聖人、アシジの聖フランシスコは、1182年、ある織物屋の息子として生まれました。青年時代にフランス語、ラテン語を学び、同年代の人と同じく華やかな生活、裕福な暮らしを追い求めていました。

ある時、半ば壊れかかった聖ダミアノ聖堂の十字架像の前で聖フランシスコが祈っていると、主の御声が十字架から聞こえました。「フランシスコ、早く行って私の家を修繕しなさい。今にも倒れそうだから」と言う声でした。聖フランシスコは、イエス様は聖ダミアノ聖堂のことを言っておられるのだと思って、早速、聖堂修理に取りかかりました。

フランシスコの父親は、フランシスコの生活が今までの生活と全く変わってしまったことに気付き、家に戻って元の暮らしをするよう勧めましたが、フランシスコは聞き入れませんでした。父親は息子を公に勘当し、フランシスコは家から離れました。

その時以来、フランシスコは、祈る生活、人を助ける生活、清貧を守る生活に入りました。粗末な服を着て、腰に荒縄を締め、はだしで人々に説教をするようになりました。アシジの町の近郊にあるポルチュンクラ聖堂を拠点として、キリストの福音、み言葉を伝えました。太陽、月、星、風、雲、空気、天の星、火、大地、人、全ての被造物を動員して神を賛美しました。

聖フランシスコは御聖体から生活の精神的原動力をくみ取り、フランシスコ修道会、クララ修道女会、フランシスコ第三会を創立し、償いの精神をもって許し合うことに努めました。聖フランシスコは晩年を迎え、1224年、靈魂と身体にイエス様の受難の苦しみを出来るだけ感じさせて下さいという願いと、人類を贖うために受難をいとわなかったイエス様の愛を深く感じさせて下さいという願いをもって、40日間の断食と黙想を致しました。それ以来、聖フランシスコは、魂の平和と喜びを体験し、そのしるしとして聖痕(せいこん)を受けました。1226年10月3日の夜、アシジのフランシスコは44歳で帰天しました。1228年6月16日付けで、教皇グレゴリオ19世は聖フランシスコを聖人の列に加えました。聖フランシスコ(アシジ)修道者の記念日は10月4日です。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
1	金		初金ミサ(10時)	掃除1G
2	土		主日ミサ(18時)	
3	日	年間第27主日	主日ミサ(9時)	
7	木	ロザリオの聖母	記念日ミサ(10時)	
9	土		主日ミサ(18時)	掃除2G
10	日	年間第28主日	主日ミサ(9時)	
16	土			掃除3G
17	日	年間第29主日	主日ミサ(9時)	
23	土			掃除4G
24	日	年間第30主日	子どもと共に捧げるミサ(9時)	
30	土			バザー準備
31	日	年間第31主日	主日ミサ(9時)	バザー(11:00-13:00)

バザー委員会からのお知らせと願い

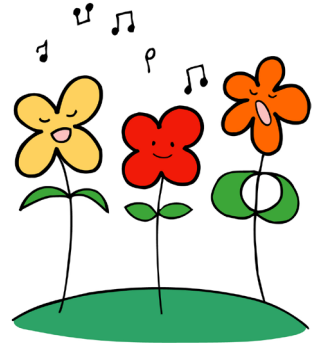
10月31日（日）に予定されています中和教会バザーは、皆様のご協力のもと着々と準備を進めております。

このバザーは、皆様のお手伝いで成り立っております。前日までの準備や当日の売り場など、一つでも結構ですからご協力をお願い致します。

また、お友達はもちろん少し疎遠になった方々にも声をかけていただければ、にぎやかになると思います。そして楽しいバザーにいたしましょう。

＜お知らせとお願い＞

- ・お手伝いのこと（可能な方は、掲示板にお名前を書いてください。）
 - ・手作り品の出品について（希望価格を明記してください。）
 - ・雑貨品の収集は終了しました。
 - ・食堂の食材の寄付について（油、粉、砂糖など担当者に声をかけてください。）
- カレー、ケーキ、焼きそば、おでん、焼きとり、飲み物 他



出エジプトと聖地巡礼の旅：(6) カナとナザレ

＜聖書関連は赤字で記載しますので、興味のある方は「聖書」を参考にしてください＞

下村 毅・昭子

①カナの教会

イエスが最初に奇跡を行なわれたカナです



聖堂内



奇跡を行った水を入れた瓶（と言うが）

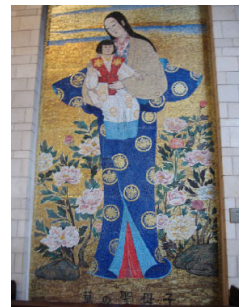
②ナザレ

受胎告知教会

（第2回で記載済み）



日本の長谷川路花画伯の和服姿の「華の聖母子」⇒



イエスが婚礼に招かれた席で、水をぶどう酒に変える最初の奇跡の教会

ヨハネ福音◆カナでの婚礼 2:1～11 イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された

教会の外と中には、世界各国から贈られた聖母子画が飾られている

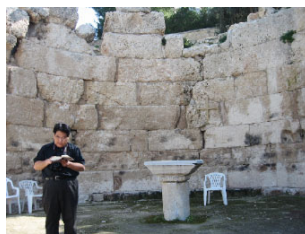
③エルサレム ベテスダの池



苦しい38年間病気で癒した池

ヨハネ福音◆ベトザタの池 5:5～8 起き上がりなさい、床を担いで歩きなさい～9

④エマオ



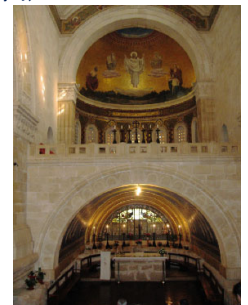
復活後イエスが、エマオに向かう二人の弟子の前に現れた所
ルカ福音◆エマオで現れる 24:13～16 しかし、二人の目は遮られて、イエスだとは分からなかった。

⑤タボール山（変容の山）



お椀を伏せたようなタボール山頂に「主の変容教会」がある

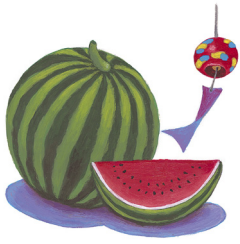
マタイ福音◆イエスの姿が変わる 17:1～2 イエスの姿彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった～5



6回と長くなりましたが、今回は見て来た写真と、聖書の一部を掲載してみました。特に2月28日四旬節第二主日には、今回紹介したスタボール山（主の変容）でしたので聖堂内が思い出されました。

本当に良い巡礼でした。「神に感謝」

要理夏期学校開催！（7月24日）



7月24日、中和田教会にて要理の夏期学校が行われました。

午前中は聖堂で十字架の道行き、午後はロザリオの祈り、神父様による赦しの秘跡、毎年恒例の花火大会、そして最後にキャンドルを灯しながら夕の祈りをしました。

暑い中、16名の子供達が参加し、とても有意義な一日となりました。

・石井 霞

今年の夏期学校はみんなと一緒に勉強したり遊んだりして、とても楽しい一日でした。神様からいっぱいお恵みをいただきました。

・石井太一

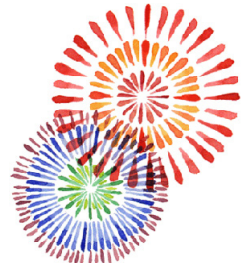
みんなと鬼ごっこことかして遊んで楽しかったです。あと、しっかり神様の前で祈ることが出来たので良かったです。

・萱場大智

ロザリオを使ってみんなでお祈りをしたり、外で鬼ごっこをしたり、とても楽しかったです。おやつのスイカはシャリシャリしていてとてもおいしかったので、お腹がパンパンになるまでたくさん食べてしまいました。楽しい一日をありがとうございました。

・保科貴大

ぼくは昼から夏期学校に行きました。みんなはロザリオの祈りをしていて、ぼくは出来なくて残念でした。カレーをたべました。夜は花火をしました。楽しかったです。



教会からのお知らせ

8月14日付で、

フナミズ ケイゴ
ルカ 船水 奎吾 さん

が、東京大司教区 築地カトリック教会より転入されました。C地区（泉区和泉町）にお住まいです。

岩淵委員長の コラム



■ 納涼ガーデンパーティー

9月4日（土）に納涼ガーデンパーティーが開かれました。大変暑い中、多くの方々に御参加頂き、会話ははずみ楽しい一時

を過ごすことができました。バーベキューを一手にお引き受け下さった武田さん、多量の野菜をご提供下さった畑の会の皆様、準備に当たられた多くの方々に心からお礼申し上げます。

■ 祭壇の件

お祈りの場にふさわしい祭壇のリニューアルを継続検討しております。既に広報でもお知らせしたように、10月には検討を依頼している大川さんからの御提案が頂ける予定です。神父様からのご指示で、良い案になるよう共同祈願に意向を盛り込んでおりますので、宜しくお願い致します。

■ 『教区長の時間』について



『教区長の時間』の読み合わせが行われました。多くの方にご参加頂き、有り難うございました。今までは内容の理解に時間をかけましたが、中和田教会としての課題も色々見えてきましたので、次回は議論中心に進めたいと思います。皆様の御参加を宜しくお願い致します。

■ 共同宣教司牧委員会について

司祭、修道者、信徒が協力して、祈る、伝える、証しする力を育て、活動していくようにとの梅村司教様の要請を受けて、第5地区の共同宣教司牧委員会が開かれています。7教会から司祭と委員長、そして各修道院から代表者が出席して議論しています。現在、祈る力についてはセミナーを検討中です。伝える力については、各教会で何が行われているのかの調査をベースに成果と課題を抽出し、若い力の育成を優先テーマとして、各教会との連携を進めようとしています。また証しする力については、第5地区として連携していけるよう、活動の対象となる機関等のマップ作りが進められています。

今後、中和田教会の典礼、宣教、福祉の各グループも、この活動との連携が必要となってきますので、宜しくお願い致します。

委員会だより

△9月12日(日) 10名出席

報告事項

●女子パウロ会の書籍販売

▽既に試行販売を開始している

▽バザーでの販売については別途女子パウロ会に確認(委員長)

●ベトナムの方々と話し合い(8月22日)

①外国の方々の考え方(冠婚葬祭など中心とした意見交換)

②ベトナムでは日本の月定献金のような考え方と異なり、必要に応じた献金で対応している。

③冠婚葬祭はベトナム人のコミュニティ(互助会的組織)にて対応している。

④教会の掃除:土曜日は仕事で参加出来ないが、日曜日は協力可能

《提案》教会中庭駐車場が狭いので、誘導係を設ける。(協力したい)

●祭壇周りの改修検討進捗状況

本日ミサで配布した資料で説明済み

●バザー準備の進捗状況

▽武田(幸)さんより8月29日のバザー委員会の内容を別資料に基づいて説明

▽9月19日からバザー券、食券の販売を始める ケーキ作りは10月28日

トウー神父様の中和田初ミサ

お願いした初ミサは11月7日に決定

ミサ後サロン形式懇親会

●外灯、教会看板:設置済み

▲AED(自動体外式除細動器)

▽信徒大会で設置要望があったAEDに

関して、教区としての指針がある

か教区事務局に確認したところ、い

くつか問合せが来ているが、まだ教

区としての指針は決めていない由。

AEDについては器具設置だけでは

なく、使用法訓練などが必要。いま

暫く様子をみたい(委員長)

●「証しグループ」からの報告と提案

▽戸塚教会へお米を届けるワークを継



方、その他通院など困っている方々の実情を把握してお手伝いをしたい

《提案》実情把握のためにアンケート用紙を、敬老ミサで一般の方々含めて配り、この結果をもとにいろいろな支援活動にに拡げたい

《結論》これに対し、「証し」以外の案件も含めて統合的なアンケートを行う方がよい、等の意見もあったが、結論として、証しグループの提案通りにアンケートを行うことに決定

●討議事項

●教会祭壇に関する祈りの意向:

本日ミサで配布した資料で説明済み

●第2回目三教会合同会議(9月18日)

▽戸塚教会から案内状を頂いた

今回は主任司祭・教会委員長に加えて、祈る、伝える、証しの各部門関係者の参加が求められているので、是非参加願いたい(委員長)

▽戸塚教会委員長から、戸塚教会の講座などに中和田からの参加を歓迎する旨お誘い頂いているが、口頭での呼び掛けに加えて、書面での参加勧奨があれば信徒も安心して参加出来るのでは? (小林神父)ー委員長が対応

第五地区共同宣教司牧委員会(9月5日開催)の報告

▽岩淵委員長より、資料配布並びに説明

敬老祝福(9月26日)の準備状況

▽案内状は発送済み、AB地区代表の森脇さんと太田さんを中心に準備進行中

案内状文面に、未信者の配偶者へ参加お誘いの記述を入れた

多様なケースへの対応課題もあるが、都度検討していくこととする

●防災避難訓練の件

▽9月19日ミサ終了後実施する

避難終了後、消防署より借用した訓練用消火器を使って、使用法説明と練習を行なう

●中和田ガーデンパーティ(9月4日)

十分な準備時間もなかったが、成功裏に終えることが出来、感謝。ご近所の

方々や信徒の配偶者の方々も参加して下さったことがよかった。来年も是非やりたいので協力願いたい(委員長)

●今回費用は教会委員会、ヨゼフ会の拠出金とご寄付で賄った。残金については適宜返金する。(財務委員)

●区民クリスマスへの対応

▽宣教グループの準備資料をベースに

「有志の参加ではなく、教会として参加することの是非」を議論

《いろいろな意見・コメント》

▽エキュメニズムやオープン化の視点から、この活動は良い活動である

「有志が参加」ということは、「好きな人が勝手にやったら」というスタンスに見受けられる

▽司教教書のメッセージを踏まえれば、より積極的にやるという考え方があつてしかるべき

今迄、(中和田から)何人参加して、結果はどうだったのか? メリットは? デメリットは?

▽エキュメニズムの中での動きとして捉えるのか、それとも「宣教活動」そのものとして捉えるのか?

▽クリスマススの理解を深めることは良い

《委員長所見》結論》

▽司教教書を踏まえ、何かネガティブな要因がない限り、中和田教会として積極的に支援、参画していく方向で集約したい

▽もし何かネガティブな要因があれば、委員長に報告願いたい。主任司祭と相談して善処する。

●教会名簿の取り扱い(ー来月審議)

●「教区長の時間」の読合せ

8月8日に岩淵委員長主催で開催

《意見・コメント》

▽意図を租借して理解を深めること、

個々の感想や考えを分か合う上で非常によかった

▽岩淵委員長が事前に「お話し合いのガイドライン」を準備されたことも、話を集中させる上で有効であった

《結論》

▽今後は教区長メッセージそのものの読み合わせではなく、それに対して中和田教会としてどう対応していくか、課題事項の討議を中心に話し合いを継続する。

▽ヨゼフ会でも読み合わせを行なっていたが、重複するので委員会主催の読み合わせに統合し、協力する。

●各グループ報告/要望事項(既出のアイテムは除く)

●宣教

▽8月29日のリーダー会で合同キャンプの反省を行なった。子どもたちも喜んで、よかったというのが結論。

▽キリスト教セミナーは、講師選定中

●財務

財務状況については、来月報告する。

前出の外灯設置費用21万円は支払済み

●典札

▽塗油の秘跡(敬老ミサ)の説明

▽10月はロザリオの祈りの月なので、例年通り、主日ミサの前に唱える

●ヨゼフ会

▽代表幹事より活動状況の報告

委員長より『拡大ヨゼフ会』の早期実現に注力願いたい旨要請あり

●小林神父のお話&課題提起

●10月18、22日小林神父出張(教区司祭黙想会)

●11月に七五三祝福ミサ(15日)、初聖体ミサ(22日)を予定

●共同回心式の日程候補は11月28日、12月5日、12月12日

●司祭召命の集いの案内が来ている

●聖体奉仕者の件

●必要性が論じられているが、まだ重要性が理解されていない。信徒宅を訪問して聖体を授けるなど多様なケースの実態把握が必要

●来年は司教様をお迎えして堅信ミサを予定する。現在、対象者は3名、候補日は6月5日、12日、19日

(次回は10月10日) 以上